

平成 2 7 年度

北海道立生涯学習推進センター

運 営 計 画

北海道立生涯学習推進センター

# 目 次

## 1 運営の基本方針

(1) 基本方針	-----	1
(2) 機能	-----	1

## 2 運営の重点

(1) 調査・研究	-----	2
(2) 指導者の養成・研修	-----	2
(3) 学習情報の提供・相談	-----	2
(4) 学習機会の提供	-----	2
(5) 教育メディアの利用促進	-----	2

## 3 事業の実施に関する年間計画

(1) 調査・研究	-----	3
(2) 指導者の養成・研修	-----	4～5
(3) 学習情報の提供・相談	-----	6～7
(4) 学習機会の提供	-----	8
(5) 教育メディアの利用促進	-----	9

## 4 広報計画

## 5 予算の概要

----- 11

# 1 運営の基本方針

## (1) 基本方針

北海道立生涯学習推進センターは、本道における生涯学習振興の拠点施設として、市町村や高等教育機関及び産業界と連携を図りながら、社会の進展や地域の要請にこたえる事業を総合的に行い、道民のさまざまな学習が促され、それらの活動が豊かに展開されるよう支援します。

## (2) 機能

### ア 調査・研究

生涯学習の推進に関する調査研究を行うとともに、その成果の普及に努めます。

また、生涯学習に関する研究資料の収集及び保存に努めます。

### イ 指導者の養成・研修

生涯学習を推進する指導者の養成を行うとともに、生涯学習関係職員等の資質向上を図るため、各種研修を行います。

### ウ 学習情報の提供・相談

生涯学習に関する情報の収集及び提供を行うとともに、各種相談に応じます。

また、家庭教育支援及び市町村行政機関関係者等への支援を行います。

### エ 学習機会の提供

新しい北海道を創造する人づくり・地域づくりに関する学習機会の提供を行います。

### オ 教育メディアの利用促進

視聴覚教材の収集・整備・貸出しを行い、市町村や関係団体の生涯学習活動を支援します。

## 2 運営の重点

### (1) 調査・研究

生涯学習社会の構築に向けた調査・研究を実施するとともに、生涯学習関係職員等に対する総合的な相談活動の充実に努める。

ア 生涯学習の振興及び当面する課題に関する調査・研究の実施

イ 生涯学習関係職員等に対する企画・研究相談の実施

### (2) 指導者の養成・研修

生涯学習関係職員等を対象とした研修を充実し、関係職員の資質の向上と指導者の養成に努める。

ア 生涯学習・社会教育の専門的な知識・技術に関する各種研修の実施

イ 自主プログラムに対応した受入れ指導の実施

ウ 各種団体等の要請に応じた職員派遣の実施

### (3) 学習情報の提供・相談

北海道生涯学習情報提供システムを活用し、総合的な学習情報の提供と各種相談の充実に努める。

ア 北海道生涯学習情報提供システムによる生涯学習情報の提供

イ 生涯学習情報紙の発行

ウ 道民の生涯学習活動を支援する学習相談の実施

### (4) 学習機会の提供

道民の生涯学習をより一層振興するとともに、自立した北海道を創造する人材の育成を図る道民カレッジ事業の充実に努める。

特に、道民カレッジ事業の趣旨に賛同する高等教育機関、市町村、民間教育事業者等と連携を促進し、連携講座の拡充に努める。

### (5) 教育メディアの利用促進

視聴覚教材の貸出しを通じ、道民の多様な学習ニーズに対応した生涯学習活動の支援に努める。

ア 現代的課題等に対応した視聴覚教材の収集・整備・貸出しの実施

イ インターネット等による視聴覚教材活用の普及・啓発の実施

### 3 事業の実施に関する年間計画

#### (1) 調査・研究

##### ア 調査・研究

研究課題	研究の概要	
	研究テーマ	内 容
当面する課題に関する調査研究	持続可能な社会づくりの担い手づくり、体制づくりに関する調査研究Ⅰ	本道の当面する課題である人口減少や少子高齢化の進行に伴うコミュニティの低下など、持続可能な地域の在り方について北海道内の市町村における取組実態や意識等を整理する。また、生涯学習の視点から、人づくりや組織体制づくりなどのモデルプランを示すことにより、社会を生き抜く力を育み、持続可能なふるさとづくりに向けた道内の生涯学習振興行政に寄与することを目的に本調査研究を実施する。
生涯学習の振興に関する基礎調査	道内の生涯学習に関する各種データの調査及び分析	各市町村の生涯学習・社会教育行政の実態などについて、基礎データを蓄積して、全道的な傾向を把握し分析することにより、新たな課題を見出し、今後の北海道並びに市町村の生涯学習及び社会教育の振興に寄与することを目的に本調査研究を実施する。

##### イ 企画・研究相談

事業名	期 日	対 象	内 容
企画・研究相談	通 年	市町村・市町村教育委員会職員、生涯学習指導者等	市町村教育委員会等の生涯学習・社会教育に関する相談に応じ、指導及び助言を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習、社会教育の推進に関すること。</li> <li>・生涯学習、社会教育の調査・研究に関すること。</li> <li>・生涯学習、社会教育の文献・資料に関すること。</li> </ul>

(2) 指導者の養成・研修

ア 主催研修事業

事業名	期 日	定 員	対 象	内 容
課題対応型 学習活性化 セミナー	札幌市 9月3日(木) ～4日(金) (2日間)	40名	市町村及び市町村教育委員会職員、各種審議会委員(社会教育委員、生涯学習審議会委員など)、社会教育関係団体職員、生涯学習関連施設職員、民間団体(NPO、ボランティア、企業等)関係者等	地域住民が、現代課題への関心を高め、その課題解決に向けた主体的な行動を促す学習活動を活性化するために、他機関や団体等との連携・協力を含めた具体的な方策に関わる専門的な知識や技術の習得に関する研修を行う。
遠隔学習 プログラム 研修講座	札幌市 8月7日(金) (1日間)	30名	市町村・市町村教育委員会職員、学校職員、生涯学習関連施設職員、青少年教育施設職員、民間団体(NPO、ボランティア、企業等)関係者、その他(情報教育に関心のある方、地域の学習リーダー等)	遠隔学習による学習機会の提供の在り方及びその知識・技術等に関する研修を行うことによって、遠隔学習の推進の中核となる指導者の育成と産学官の情報ネットワーク化を図る。
生涯学習推進 基本講座	道央会場 倶知安町 11月12日(木) ～13日(金) (2日間)	30名	市町村・市町村教育委員会職員、各種審議会委員(社会教育委員、生涯学習審議会委員など)、生涯学習関連施設職員、生涯学習・社会教育行政担当者、民間団体(NPO、ボランティア、企業等)関係者等	人づくりと地域づくりに資する生涯学習を推進するための体制整備としての計画策定・評価及び事業企画に関する基本的・実務的な知識や技術などについて理解を深めるための研修を行う。
	道南会場 乙部町 10月23日(金) (1日間)	30名		
	道北会場 稚内市 10月8日(木) (1日間)	30名		
	道東会場 釧路市 7月9日(木) (1日間)	30名		
生涯学習推進 専門講座	札幌市 11月5日(木) ～6日(金) (2日間)	30名	同 上	人づくりと地域づくりに資する生涯学習を推進するための体制整備としての計画策定・評価及び事業企画に関する専門的な知識や技術などについて理解を深める。
地域生涯学習 活動実践交流 セミナー	札幌市 平成28年 2月16日(火) ～17日(水) (2日間)	200名	生涯学習・社会教育を担当する行政職員、生涯学習・社会教育関連施設及び青少年教育施設等の職員、生涯学習・社会教育関係団体の職員、生涯学習・社会教育関係団体の各種委員等	本道における生涯学習活動の一層の推進を図るため、実践事例の交流等を通し、北海道における生涯学習活動推進上の課題解決を図る。

イ 職員研修事業

事業名	期 日	定 員	対 象	内 容
新任社会教育主事研修会	4月21日(火) ～ 23日(木) (3日間)	—	新たに北海道教育委員会の社会教育主事となった者	社会教育主事として必要な専門分野の知識や職務遂行能力に関する研修を行う。
新任社会教育指導班主査等研修会	4月21日(火) ～ 22日(水) (2日間)	—	新たに北海道教育委員会の社会教育指導班主査等となった者	社会教育指導班主査等の資質向上を図るために必要な専門知識や職務遂行能力に関する研修を行う。

ウ 自主研修団体受入事業

事業名	期 日	定 員	対 象	内 容
自主研修団体受入	通 年	—	市町村・市町村教育委員会職員、生涯学習・社会教育関係団体職員等	生涯学習・社会教育関係者等が行う自主的な研修に対する助言や指導等を行う。

エ 職員派遣事業

事業名	期 日	定 員	対 象	内 容
職員派遣	通 年	—	「職員の講師派遣に関する取扱要領」に基づく対象団体が主催（主管）する研修会等	生涯学習・社会教育に関する研修会等を主催する団体からの要請に基づき、職員を派遣し、研修会等において指導や助言等を行う。

(3) 学習情報の提供・相談

ア 学習情報の提供

事業名	期 日	対 象	内 容
ホームページ『生涯学習ほっかいどう』	通 年	道民、行政関係者、学校教育関係者、社会教育関係団体等	道民の様々な学習活動を支援するため、インターネットで学習情報を提供する北海道の生涯学習情報のポータルサイトを運営する。 URL <a href="http://manabi.pref.hokkaido.jp/">http://manabi.pref.hokkaido.jp/</a> 提供情報 【生涯学習情報データベース】 ・講座・講習会、施設・機関、講師・指導者等 【生涯学習の相談窓口】 ・生涯学習相談室「まなびウイング」 【家庭教育支援・子育て支援】 ・子育てワンポイントアドバイス ・家庭教育相談「子育てカウンセリング」 ・モバイル版「家庭教育Q&A」 【行政関係者情報】 ・生涯学習・社会教育担当者向けの情報 【その他】 ・生涯学習関連機関・施設等のリンク情報等
生涯学習情報紙「北のまなび」の発行	季 刊	道民、市町村教育委員会等	道民の様々な学習活動を支援するため、生涯学習に関わるタイムリーな話題等を掲載した情報紙を発行する。
「研修会だより」の発行	適 宜	市町村教育委員会等	当センター研修事業に関する内容等を広く提供することにより、本道の生涯学習の振興に資するために発行する。

イ 学習相談

事業名	期 日	対 象	内 容
学習相談『まなびウイング』	月～金曜日 (祝日・休日、年末年始を除く) 9:00～17:00	道民、行政関係者、学校教育関係者、社会教育関係団体等	学習相談員等により道民の生涯学習活動支援のための学習相談を行う。 【相談場所】 ・かでの2・7ビル8階 生涯学習相談室（まなびウイング） 【相談方法】 ・面接による相談（直接来所） ・電話、ファクス、メール等による相談 【相談内容】 ・文献・資料、生涯学習計画・社会教育計画、社会教育調査・評価、施設・団体、学習機会・各種事業、講師・指導者、資格・各種制度等



ウ 家庭教育相談

事業名	期日	対象	内容
家庭教育相談 『子育て カウンセリング』	火～金曜日 (祝日・休日、 年末年始を除く) 13:00～17:00  1回約1時間 (要事前予約)	子育てに関する不安や悩みを抱く親等	臨床心理士による無料の相談を行う。 【相談場所】 ・かでの2・7ビル8階 カウンセリング室 【相談方法】 ・原則として面接による相談 【申込方法】 ・予約受付 毎週月曜日～金曜日 9:00～17:00 (祝日・休日、年末年始を除く) 電話/FAX: 011-261-4545 E-mail: kosodate@manabi.pref.hokkaido.jp

エ 資料の収集、展示及び提供（情報交流広場（まなびの広場）（委託）

事業名	期日	対象	内容
ア 情報交流広場	通年	道民	道民カレッジに関わる相談や情報提供をはじめ、生涯学習に関する図書、資料、パンフレット等の展示及び提供、道内市町村・団体等における生涯学習の取組や学習成果等を発表・紹介する場の提供を行う。
イ 道民カレッジ 情報コーナー	通年	道民	道民カレッジに関わる相談や情報提供を行う。 ・入学・称号手続き及び相談 ・講座受講の相談 ・ガイドブック、パンフレット、大学インターネット講座チラシ、連携講座関係資料等の提供
ウ 展示コーナー	通年	道民	道内市町村・団体等における生涯学習の取組や学習成果等の発表・紹介を行う。 ・応募のあった市町村・団体等の取組紹介及び作品展示
エ ふるさとコーナー	通年	道民	道内関係の情報図書をはじめ、市町村の広報誌やパンフレット、団体等の文芸誌等の紹介及び提供を行う。 ・地方新聞 ・市町村広報紙、パンフレット ・文芸誌 ・北海道関係図書・資料
オ ビデオレファレンス コーナー	通年	道民	道民の申し出により、一般教材及び「大学インターネット講座」DVD、「大学放送講座」録画ビデオ等の試写を行う。

(4) 学習機会の提供

ア ほっかいどう生涯学習ネットワークカレッジ（道民カレッジ）本部事務局

項目	内容
受託者への指導・助言	総合評価一般競争入札により北海道立生涯学習推進センター業務（道民カレッジ事業を含む）を受託した業者に対する指導・助言
「ほっかいどう学」ネット検定の支援	道民カレッジの「ほっかいどう学」を柱とした検定を行う「ほっかいどう学」ネット検定実行委員会が行う「ほっかいどう学」ネット検定への支援。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページへの情報掲載など多くの受検者が得られるような支援</li> <li>・ジュニア検定における問題作成や運営のサポート</li> </ul>

イ ほっかいどう生涯学習ネットワークカレッジ（道民カレッジ）事業（委託）

事業名	期日・場所	内容
ほっかいどう生涯学習ネットワークカレッジ（道民カレッジ）事業	—	道民の専門的・多様化する学習ニーズに対応するため、産学官の連携による生涯学習を支援する体制の整備を図り、様々な学習機会を体系的に構築・提供することによって、道民の生涯学習をより一層振興するとともに、自立した北海道を創造する人材を育成する。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びたいという意思」を唯一の入学資格とする「北海道の生涯学習の学園」</li> <li>・全道各地で開催されている講座をだれもが受講可能</li> <li>・自分が学びたい講座を選び、自分を高めるとともに、学習成果を地域等で活用</li> </ul>
(ア) 主催講座 a 「ほっかいどう学」大学インターネット講座	8講座公開中 (10月頃8講座追加予定)	北海道の広域性を考慮し、インターネットを活用して、どこでも誰もが学ぶことができる機会を提供する。 また、講座を収録したDVDを全道の市町村等に配布し、インターネットを利用できない方などに貸出しを行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度公開講座：8講座</li> <li>・参加大学：8大学（予定）</li> <li>・講座内容：「ほっかいどう学」をテーマとした内容</li> </ul>
b 「ほっかいどう学」地域活動推進講座	6月～3月 道内2ヶ所 道南 江差町 道北 南富良野町	地域の様々な機関との協働を進めるためのコミュニケーションスキルの向上を図る学習プログラムを市町村（広域を含む）や団体等との連携によって開発・実施し、もって地域活動やまちづくりに貢献する人材を育成する参画型の講座を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・道内2地域で年間5回程度の講座を継続開催</li> </ul>
(イ) 連携講座	通年 [前期 4～9月] [後期 10～3月] 全道各地	道民カレッジの趣旨に賛同する高等教育機関や市町村、民間教育事業者やNPO団体等が、道民を対象に行う各種講座を連携講座に登録し、学習機会の提供を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・コース「ほっかいどう学」「能力開発」「生活環境」「健康・スポーツ」「教養」「ジュニア」の6コースに分類</li> <li>・H27目標指数 連携講座数 4,400講座 受講者数 104,000人</li> </ul>

(5) 教育メディアの利用促進

ア 視聴覚教育に関する教材の収集・整備

事業名	期日	対象	内容
視聴覚教材収集・整備事業	通年	官公庁、社会教育施設等、学校、社会教育関係団体、民間団体等	学習活動に必要な視聴覚教材を収集・整備し、市町村や関係団体等の生涯学習活動を支援する。

イ 視聴覚教育に関する教材の貸出し（委託）

事業名	期日	対象	内容
視聴覚教材貸出事業	通年	官公庁、社会教育施設等、学校、社会教育関係団体、民間団体等	学習活動に必要な視聴覚教材を貸出し、市町村や関係団体等の生涯学習活動を支援する。

#### 4 広報計画

広報事項	事業名等	広報予定期(月)	広報媒体等							
			広報文書・チラシ等	定期刊行物発行	新聞【道通】	ホームページ	所内掲示	言語媒体【相談・会議等】	道教委広報媒体	その他の媒体
研修事業案内	・課題対応型学習活性化セミナー	8月	○		○	○	○	○		
	・生涯学習推進基本講座 道央会場 道南会場 道北会場 道東会場	10月 9月 9月 6月	○		○	○	○	○		
	・生涯学習推進専門講座	10月	○		○	○	○	○		
	・地域生涯学習活動実践交流セミナー	1月	○		○	○	○	○		
	・遠隔学習プログラム研修講座	7月	○		○	○	○	○		
	・研修団体受入事業	随時				○		○		
	・職員派遣事業	随時				○		○		
学習情報の提供	・ホームページ「生涯学習ほっかいどう」（北海道生涯学習情報提供システム）	年間			○	○		○		
	・生涯学習情報紙「北のまなび」	季刊	○	○	○	○	○	○		
	・「研修だより」	随時			○	○	○	○		
学習相談	・学習相談「まなびウイング」	随時	○		○	○	○	○	○	
家庭教育相談	・家庭教育相談「子育てカウンセリング」「子育てワンポイントアドバイス」	随時	○		○	○	○	○	○	
学習機会の提供	・道民カレッジ事業	随時		○		○	○	○	○	
教育メディアの利用促進	・視聴覚教材貸出し	随時	○		○	○	○	○	○	

注：道教委広報媒体欄は、教育政策課（広報広聴G）所管の広報（教育ほっかいどう家庭版・WEB版、メールマガジン）への記事掲載を要望するものである。

## 5 予算の概要

(単位：千円)

区分	事業名	27年度予算	26年度予算	増減	備考
センター費 (運営費)	維持費	581	650	△ 69	
	運営費	866	878	△ 12	
	運営費計(a)	1,447	1,528	△ 81	対前年比△5.3%
センター費 (事業費)	調査研究事業	510	663	△ 153	調査テーマの見直し
	研修事業	1,326	1,295	31	
	学習情報提供・相談事業	3,409	3,536	△ 127	
	設備整備費 (視聴覚教材・情報交流広場図書整備)	1,393	1,365	28	
	事業費計(b)	6,638	6,859	△ 221	対前年比△3.2%
センター費合計 A (a+b)		8,085	8,387	△ 302	対前年比△3.6%
道民カレッジ・ 視聴覚センター事業費	カレッジ・視聴覚センター事業費(委託事業)	36,125	36,577	△ 452	インターネット講座の公開システム開発経費の見直しなど
	総合評価審査委員会経費(直営事業)	185	170	15	
	道民カレッジ事業費・視聴覚センター事業費合計 B	36,310	36,747	△ 437	対前年比△1.2%
総計 (A+B)		44,395	45,134	△ 739	対前年比△1.6%

学びから 夢が生まれる 道民カレッジ



道民カレッジロゴマーク 愛称「マナボー」